

## ソーシャル・イノベーションセンター（多摩）について

2023年度 ソーシャル・イノベーションセンターの活動の概要・・・・・・・・・・114

2023年度 ソーシャル・イノベーションセンター学生団体紹介・・・・・・・・・・116

2023年度 ソーシャル・イノベーションセンター活動の報告・・・・・・・・・・117

# ソーシャル・イノベーションセンター活動の概要

ソーシャル・イノベーションセンター  
(多摩事務部多摩事務課学務担当)

## 1 ソーシャル・イノベーションセンター（以下、SIC）開設に伴う改組対応について

2023年4月に旧多摩地域交流センターと旧多摩ボランティアセンターが統合し、SICが発足した。SICは多摩事務部多摩事務課学務担当所管のセンターとなり、多摩キャンパスにおけるボランティア業務はSICにて全て対応している。

## 2 2023年度活動報告

### (1) 学生ボランティアスタッフの募集

4月の新歓時期を中心に学生ボランティアスタッフを募集したが、昨年度からの継続8名（4年生2名、3年生2名、2年生4名）の体制のまま、新たに加入する学生がいない状況で、今年度の活動を実施した。

### (2) 学生ボランティアスタッフの活動状況

2021年度よりチーム主体ではなく学生スタッフ全員に参加を呼びかける全体企画の運営が基本となっており、SICへ移管後も踏襲して対応している。また、今年度は新型コロナ5類に移行し、対面開催のイベントが主となっており、SICにはキャンパス近隣地域より多くのイベント実施に関する情報が寄せられているが、学生スタッフの体制を踏まえ、例年参加しているイベントを中心に活動を行った。

以下、学生スタッフが参加した外部イベントならびに学内で企画・開催したイベントである。

- |            |                      |                      |
|------------|----------------------|----------------------|
| ①5月14日（日）  | 第18回★学生天国★           | 参加学生：4名              |
| ②5月28日（日）  | 境川クリーンアップ作戦          | 参加学生：6名              |
| ③9月23日（土）  | 竹カフェ①～法大生と取り組む防災～    | 参加学生：5名、地域住民等17名     |
| ④10月14日（日） | つながりマルシェ             | 参加学生：4名              |
| ⑤11月3日（金）  | 相原スポーツ FUNDAY「走り方教室」 | 参加学生：1名（他、第二体育会より2名） |
| ⑥12月2日（土）  | まちカフェ                | 参加学生：3名              |
| ⑦2月17日（土）  | 館ヶ丘団地「防災フェスティバル」     | 参加学生：3名              |
| ⑧3月2日（土）   | 竹カフェ②～ボッチャ大会～        | 参加学生：4名、地域住民等13名     |
| ⑨3月9日（土）   | つるかかわ大交流会「ミライ大作戦」    | 参加学生：2名              |
| ⑩3月20日（水）  | 学生活動報告会「ガクマチ EXPO」   | 参加学生：3名              |

### (3) SIC 学生プロジェクトとの連携

今年度よりSICへ移行したことにより、旧多摩地域交流センターから活動を実施している学生プロジェクトとの連携にも着手した。SIC主催で実施する中間報告会（10月）では助成金を受けて活動する学生プロジェクトの中間報告とワークショップを行っているが、学生ボランティアスタッフにも同イベントに参加してもらった。SICで活動する一員であることを意識してもらうほか、SIC学生プロジェクト団体と、学生ボランティアスタッフのヨコの繋がりを作ることを意図とした。

秋以降には、学生プロジェクトで活動するイベントに学生ボランティアスタッフにも参加協力を求め

られるなど、SIC 所属ならではの新たな活動の幅が広がりつつある。

#### (4) 学生スタッフによる職員向け防災報告会の開催

1月12日(金)、学生ボランティアスタッフによる防災報告会を開催した。今年度の学生ボランティアスタッフは、防災をテーマにしたワークショップを開催する機会が多かったことから、SIC 担当職員から防災報告会開催の企画を設定した。職員の立場としては、学生スタッフが取り組む活動を理解することや防災対応の業務に生かすこと、学生スタッフには自分たちの活動の振り返りや次の世代に向けた引継ぎなどを意識してもらうことを目的とした。

防災報告会には多摩キャンパスで防災業務を担当する多摩事務部多摩事務課を中心に職員5名、SIC ボランティア学生スタッフ4名が参加し、今年度のボランティア学生スタッフ活動報告のほか、職員向けに机上での防災シミュレーションゲーム「ダイレクトロード」を体験する時間を設け、職員にとっても防災業務に生かせるよう工夫して開催された。

#### (5) ボランティア相談の状況

多摩キャンパスでは、特に現代福祉学部1年生の「フィールド体験実習」に伴うボランティア情報の収集のために、多摩ボランティアセンターを利用する学生が多い。今年度はSIC に業務移管し、継続的にサポートを行っているが、利用学生は例年に比して減少気味であった。

キャンパス内におけるボランティアセンター機能であるSIC の認知が低い可能性は否定できないが、現代福祉学部実習指導室との打合せの場を設けるなど、ボランティアを希望する学生に対する支援が滞ることの無いよう、引き続き対応を進めていく。

### 3 今後に向けて

2023年度はセンター改組に伴い、事務側も学生スタッフ側も手探り状態でボランティア活動に取り組んだ1年となった。しかしながら、多摩ボランティアセンターから築いてきた活動を継続すること、学生スタッフ創設以来の基本方針である「学生スタッフによる自律的な企画運営」は、SIC で掲げるイノベーションとして、「持続可能な」活動を続けていくことに当てはまる。

学生ボランティアスタッフの学びの場として、SIC が持つ資源を最大限活用し、今後も支援を続けていきたい。

## ソーシャル・イノベーションセンター 学生団体紹介 ～スタッフ代表のことば～

2023年度の私達の団体は多摩地域交流センターと統合し、名前を一新しました。その名前は多摩ボランティアスタッフからSICボランティアスタッフです。活動内容としては、昨年度と同様に地域交流を主に行ってきました。そして、地域交流をするためにイベントの参加と企画を一年通して行いました。イベントの企画では「地域交流会竹カフェ」、イベントの参加では「学生活動報告会ガクマチ EXPO」、「まちカフェ」、「つながりマルシェ」などが挙げられます。地域交流会竹カフェでは夏と春の計2回行いました。夏には防災をテーマに地域住民の方々と非常食の試食会や防災のロードマップを通して交流をしました。春ではポッチャというスポーツを通して交流しました。まちカフェやつながりマルシェでは学校という防災カードゲームを通じて交流をしてきました。これらの交流を通して、コミュニケーションを取れる喜びや新たな発見を見つけることができました。

特に記憶に残っている活動は夏に行った竹カフェです。防災をテーマに交流ができるかと不安がありましたが、実際に開催してみると近隣の住民の方々が来てくださり、大変有意義な会となりました。話していく中で東日本大震災の時どうしていたかという話題があがりました。各々の当時の記憶を呼び覚ますと同時に地震の凄惨さと防災の意義を私たちに伝えてくれたと思います。

来年度も同じく、地域交流に目を向け活動を行っていこうと思います。特に防災をテーマに交流ができればよいと考えています。

2023年度 SIC 学生ボランティアスタッフ代表 森田 陸生

# 1. 八王子地域合同学園祭「第18回★学生天国★」

1 日程 2023年5月14日(日)

2 場所 JR八王子駅北口 西放射線ユーロード

## 3 概要

大学コンソーシアム八王子に加盟している25大学等に所属するサークルやゼミが、日ごろの活動や研究の成果を披露するイベント「第18回★学生天国★」に、ソーシャル・イノベーションセンターの学生ボランティアスタッフが参加しました。今回の出展テーマは、「身近なもので作れる防災グッズ作り」。ワークショップ形式で、新聞紙やキッチンペーパー、ゴミ袋を利用した、災害時・緊急時に使えるスリッパやマスク、レインコートの作り方を来場者の方にレクチャーしていきました。

4 学生参加者数 4名

## 5 参加者の感想

『★学生天国★』には今回が初めての参加だったのですが、多くの人が通る八王子駅前前でブースを出展させていただいて、色んな方に認知していただけたことが良かったです。ユーロードで実際に出演してみましたが、ブースに立ち止まる人は想定していたほどいなくて、歩きながらついでに寄ってみられる形の企画内容であればより注目してもらえるのかなと思いました。この反省を活かして、今後も『★学生天国★』に参加するときはお客さんのニーズを考えて必要な形で出展することを後輩たちに伝えていきたいと思います。

様々な人に日用品を使った防災グッズを伝えていく中で、色々な考えを自分の中に取り入れることが出来たと思う。また、次回行うときの改善点も見つけることができた。余談ではあるが、法政大学の多摩キャンパスのOBの方々に会うこともでき、新鮮な気持ちになった。



多くの団体と交流する良い機会となった

## 2. 境川クリーンアップ作戦

1 日程 2023年5月28日(日)

2 場所 境川周辺

### 3 概要

実行委員会の方からお声がけいただき、町田市と相模原市の間を流れる境川の清掃を通じて、地域の人と人とのつながりを創生するプロジェクト「境川クリーンアップ作戦」に学生ボランティアスタッフが参加しました。

当日、学生たちは相模原市緑区橋本に架かる寿橋付近の清掃を担当し、活動を通じて地域の方々との交流を深め、ゴミ問題に対する意識を新たにしました。

4 学生参加者数 6名

### 5 参加者の感想

一見あまりゴミが落ちていないように見えたが、草のなかをよく見ていくと案外落ちていた。又、ゴミが海洋汚染であるマイクロプラスチックの問題に繋がっているのは新しい知見であった。

今回が初めての参加となった境川クリーンアップ作戦ですが、参加する前のイメージでは近隣に住む中高年の方や高齢の方が多く参加する清掃活動なのかと思っていましたが、当日僕たちが参加した橋本会場ではSICの学生スタッフ以外にも、ガクマチで一緒にさせていただいた桜美林大学の方々や近くの橋本高校の高校生など若い人たちが多くいて驚きました。僕たちは寿橋と呼ばれる橋から実際に川に下りて、川沿いや川中のごみを回収すべく活動していたのですが、川沿いも川中にもポイ捨てされたと思われるペットボトルや空き缶などが多く在り、清掃のし甲斐を非常に感じました。また、同じグループで一般の参加をしていた法政のOBの方は川中から大きいスケートボードを見つけられていて、こんな物が川に捨てられているのだと驚きました。

境川には、ゴミ以外にもガラスや陶器の破片が非常に多く落ちていました。釣りを楽しむ人や川遊びをする子供たちがいるそうなので、環境保全だけでなく境川の危険性も減らすことができたいと思います。地域の方々と交流しながら活動できたので、とても貴重な経験になりました。

地元の人だけでなく、高校生や大学生も多く参加していたので、いつものボランティアとはまた違った雰囲気でき、良い経験となった。



## 3. ～相原地区協議会大学連携事業～ 地域交流会「竹カフェ」

1 日程 2023年9月23日(土・祝)

2 場所 多摩キャンパス EGG DOME

### 3 概要

「竹カフェ」とは、相原地区協議会との連携事業として、多摩ボランティアセンターが毎年開催してきた地域交流会です。

今回の竹カフェは、「法大生と取り組む防災」をテーマに、防災食の試食会や災害協力シミュレーションゲームを実施し、地域の方17名にご参加いただきました。

防災食の試食会では、アルファ米を使用したカレーや携帯できるおにぎり、長期間保存できるポテトチップスなど、普段なかなか食べる機会のない防災食を数種類用意しました。「思っていたよりもおいしかった」という驚きの声が多く聞こえ、貴重な機会となりました。

災害協力シミュレーションゲームでは、神戸市が公開しているカードゲーム型の防災訓練教材「ダイレクトロード【内陸の町】」を使用。それぞれチームに分かれて、災害時の対応方法や情報共有の重要性について学びました。

4 学生参加者数 5名

### 5 参加者の感想

最初のアイスブレイクでうまく雰囲気づくりができてから、最後まで防災と地域を絡めながら交流が出来たと思う。当日の開催を通して感じたことは二つある。

一つ目は防災をカジュアルにして伝えていくのは難しいということだ。今回参加していただいた方々がどのような理由で参加していただいたかは不明だが、会話を通してやはり防災への意識が高い人が多いように見受けられた。そのような方々が参加して下さることは大変喜ばしいことである。だが、防災の意識がない人たちに対しても伝えていくという課題が見えた。

二つ目は自主的な会話を引き出すことが難しいことだ。自分のコミュニケーション能力にも問題があるかもしれないが、自主的に話をひろげるとするのは難しい。そして、それが初対面なら尚更である。自分のグループでは最後の方には東日本大震災の話などが出てきて自然と話が盛り上がり、とてもよかったと思う。それには最初のアイスブレイクや食事、ロードマップといった相互に関わりあうきっかけがあったからだと思う。今までの八王子などで行っていた防災では一方的に教えることになっていた。なので、自分たちが教えて完結してしまうことが多かった。そのため、これからは防災をより多くの人に興味を持ってもらうために双方向的な取り組みをいれていくことが良いのではないかと考えた。

非常食が想像していたよりも美味しく、驚きました。さまざまな場面を想定し、アレルギー物質や水と火の使用などを考慮して非常食を備蓄する必要があると思います。また、ダイレクトロードは、初対面の方々と挑戦しました。実際の災害時もその場に居合わせた人と行動しなければならぬため、積極的な情報交換や話し合いが重要だと実感しました。

昨年までと比べて学生スタッフ側の人数が少ないため不安も大きかったが、無事に開催できてよかった。都合がつかずあまり準備に参加が出来なかったことが反省点である。当日はどのグループも会話が弾んでいる様子が見られ、防災について考えられる機会であると同時に、多世代交流の場にもなったということで、竹カフェを開催する目的に添っていたように感じられた。

今回の竹カフェでは、自分はグループの中で積極的に交流するというよりはドリンクを分けて運んだり、配膳された非常食を回収したりと裏方周りのお仕事をしていました。希望のドリンクを分けて運ぶのが想定していたよりも時間がかかってしまい、少し焦りましたが、他のスタッフも手伝ってくれてなんとかスケジュールを逸脱しないで進行できたかなと思います。交流できた時間は10分ほどと短かったですが、非常食について聞かれた質問に答えたり、参加された方の驚きのリアクションを直に感じたりして非常に達成感を感じていました。

主催：法政大学ソーシャルイノベーションセンター  
企画：学生ボランティアスタッフ

### たけカフェ

## 法大生と取り組む防災

9月23日

日時：9月23日(土) 13:00～15:00  
場所：法政大学多摩キャンパス エッグドーム二階  
スローワールドカフェ

定員：35名(先着順)  
対象年齢：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

参加費：無料

内容

- 防災非常食の試食会
- 災害協力シミュレーションゲーム
- 地域交流

お問い合わせ先【SICへ】  
電話：042-783-3014  
メール：sic@ml.hosei.ac.jp  
メールには氏名、年齢、所属(もしあれば)の記載をお願いします

また、「ダイレクトロード」では、ゲームの進行役として各グループがどのような感じで進めて、どのような話し合いがされているのかを見聞きするゲームマスターの役割をこなしていました。時間を管理しながらヒントを小出しにして伝えてく役割も、最初は聞いてもらえるか不安だったのですが、ゲーム中でも重要なヒントであったため静かに聞いてもらえたのが嬉しかったです。各グループで、悪戦苦闘している姿や何とか絵を口頭やジェスチャーで伝えようとしている姿を見て、ゲームマスターの視点から見るダイレクトロードは非常に面白いものであると新しく発見しました。

参加された方からのフィードバックでは、今回の竹カフェに関する満足度が非常に高いことが分かり、改めて今回の企画のユニークさやオリジナリティを活かすことが出来たのかなと思いました。



防災ゲームを行った



防災食はいずれも好評だった

## 4. つながりマルシェ

1 日程 2023年10月14日(土)

2 場所 相模大野ショッピングセンター station SQUARE

### 3 概要

さがまち学生 Club が主催する地域活性化イベント「つながりマルシェ」に、学生ボランティアスタッフが参加しました。

昨年は多摩ボランティアセンター(当時)としてブースを出展しており、学生たちは今年で2度目の参加となります。相模原・町田で地域活動を行う学生団体が10団体参加し、日ごろの活動を生かした企画を実施しました。

今回は「防災ゲームで盛り上がり！」をテーマに、防災カードゲーム「なますの学校」を実際に体験できるワークショップを実施しました。

「なますの学校」は、カードと紙芝居を使用した、小さな子どもでも楽しめる防災クイズゲームです。より多くの人に楽しんでもらうため、オリジナルルールの設定や、防災に関するアンケートを実施するなど様々な工夫をこらし、ブースには80名の方が訪れ、イベントは大いに盛り上がりました。

4 学生参加者数 4名

### 5 参加者の感想

今回のつながりマルシェでは、「なますの学校」体験ワークショップの出展に際して企画から関わり、企画を成功させるため・イベントを盛り上げるため・ボランティアスタッフを引っ張るために努力しました。企画としては、昨年度から変わらず「防災」をテーマにした企画を用いたいと思い、ゲーム形式で防災に関する知識やためになる情報を学ぶことが出来たら良いと考え、「なますの学校」を調べて選択しました。かつて、ポラセンで行ったことがあることや実際の評判なども参考にして決定しました。つながりマルシェ参加団体会議で企画を説明したり、デモプレイを体験した時から団体の方々から「面白い!」「当日もやってみよう!」との声が大きく反響が大きかったため、当日まで自信を持って準備に取り組むことが出来ました。当日は実際のお客さんの回転効率なども考えながら多少ルールをアレンジしたりしてなるべく多くの方に楽しんでもらうべく工夫をしました。その甲斐もあってか80名を超える方に来てもらったので、すごく嬉しかったです。

今回は相模大野駅前前で活動を行った。前回のつながりマルシェよりも人が多く、実際に自分たちのブースにも多くの人に足を運んでもらった。来てもらった子連れの人が多く、楽しんでもらえたのではないかなと思う。その中で自分が思ったこととしては、大人に向けた防災も必要なのではないかなと思った。今回はカードゲームを使った子供向けであり、保護者の方は後ろで見守っていた。だが、実際に防災をするのは大人が行う。そのことを踏まえると子供だけではなく、大人に向けた必要もあるのではないかなと思った。そのために子供と大人がいて、できるゲームや、ターゲットを大人だけに絞り、内容を少しシリアスにするというのも面白いのではないかなと思う。

これまでに参加したどのイベントよりもたくさんの方がいらっしまったのでやりがいを感じました。また、見慣れた他の団体の方と交流ができて良い経験をもらえました。

「なますの学校」では、身近なアイテムを選択するという点に関して子どもならではの柔軟な発想が見られ、驚かされる場面がありました。また、他の団体の企画も見学でき、今後のボランティア活動の参考になりました。ショッピングセンターが近いこともあり、ゲームを通じてさまざまな年代の方と関わることができたと思います。



子どもたちも多く参加



防災カードゲーム「なますの学校」

## 5. 相原スポーツ広場 FUN DAY

1 日 程 2023年11月3日(金・祝)

2 場 所 相原中央公園

### 3 概 要

町田市相原中央公園内にあるスポーツ広場で開催されたスポーツイベント「相原スポーツ広場FUN DAY」に、学生ボランティアスタッフと、第二陸上競技部の学生が参加しました。

当日、学生ボランティアスタッフは子どもたちに正しい走り方を教える「走り方教室」のブースの受付業務を担当しました。

11月とは思えない気温の中でのイベントとなりましたが、第二陸上競技部の学生による熱心な指導で、たくさん子どもたちが楽しそうに走り回っていました。

4 学生参加者数 3名

### 5 参加者の感想

相原スポーツ広場FUNDAYは一昨年に続き2回目の参加でしたが、今年もたくさん子どもたちにお越しいただきました。その分、受付も大変で、子どもの名前を把握することも一苦労でした。日中は日差しが強く、気温も高い1日でしたが、受付の役割もあり、テントの中に待機していたので、子どもたちや外で実演する第二陸上競技部の皆さんに申し訳なく思いながら見守っていました。最終的にたくさん子どもたちに来ていただいたこと、第二陸上競技部ともつながりを再び持てたことが大きいと感じるイベントでした。



しっかりと準備運動



第二陸上競技部の学生によるレクチャー

## 6. 町田市民協働フェスティバル「まちカフェ！」

1 日程 2023年12月2日(土)

2 場所 町田市役所

### 3 概要

「市民協働フェスティバル『まちカフェ！』」は、町田市内で活動するNPO法人や市民活動団体、地域活動(町内会・自治会)などが一堂に集い、活動発表などを通じて交流を深めるためのイベントです。100を超える催しが行われる中、学生ボランティアスタッフは、多摩ボランティアセンター時代(2016年)から継続して参加しています。

8回目の参加となる今回は、遊びながら防災について学べる「なますの学校」の体験ワークショップのブースを出展。多くの方に楽しんでご参加いただけるよう、学生たちはオリジナルのルールを設けるなど工夫を凝らし、お子様連れのご家族を中心に、防災時の対応をクイズで出題しました。ブースは入れ替わり40組以上に参加していただき、大変盛況でした。

町田市内の活動団体が一堂に会する大きなイベントということもあり、例年参加している学生は地域の方が声をかけられるなど、ブース出展だけでなく他団体の企画に参加することもでき、充実した経験を得ることができました。

4 学生参加者数 3名

### 5 参加者の感想

まちカフェ!ではつながりマルシェと同じく、「なますの学校」を行いました。その時からの変更点として、時間に縛られず複数問題を出すことやいろんなアイデアを聞くためにシンキングタイムを伸ばしたり、工夫をしてみました。個人的にはそれらの変更が良い方向に作用したかなと思いました。例えば、複数問題を出すことでお友達と競う形で得点を積み重ねることが出来たり、シンキングタイムを伸ばすことで協力して解く問題での斬新なアイデアなどを聞くことが出来ました。特に、模範解答の通りの回答をしてくれた子がいて、スタッフ側から感嘆の声が上がっていました。また、個人としては、スタッフとして関わることが出来る最後のまちカフェ!の機会ということもあり、時間の許す限りブースを回ったりもしていました。ボラセンのブースの周りに学生団体が固まっていたことや少し足を伸ばして2階や1階で行われているブースにも足を運びました。色々な団体さんと交流出来たことは凄く印象深く、活動を続けていて良かったと思うと同時に、その間のブースを後輩たちに預けて特に問題なく進行していたみたいなので安心しました。

まちカフェ当日はたくさんの人に来ていただいた。なますの学校に関しては2回目ということもあって、最初からスムーズに行うことができた。最近では防災関係に力を入れているので、これからもどのようにすれば防災意識を持ってもらえるかを考えていきたい。

NPO、市民・地域活動団体、ボランティアと  
出会う町田最大規模のイベント

第17回 町田市民協働フェスティバル  
「まちカフェ！」

開催場所 町田市役所・市内各地の会場

町田市役所開催イベント  
12.2(土) 10:00-16:00 入場無料

初日は市役所でのオープニングイベント実施!  
100を超える団体が大集合し、  
子どもから大人まで楽しめる様々な催しを実施します。

ワークショップ・体験型・  
コンサート・アート・雑音・お笑い・  
スポーツ・ダンス・音楽活動・仲間探し・  
ミニ講座・ゲーム・クイズ and more...

町田市内各地で開催するイベント  
12.2(土) ~10(日)

市役所会場(平日一部)や市内各地の会場、団体の活動フィールドで  
趣向を凝らした展示やイベントが実施されます。

町田には  
プラス  
が  
い  
つ  
ぱ  
い

未来に  
カフェ  
◆  
新たな  
出会い

<https://www.machicafe.tokyo/>

@machicafe\_mcc @MachiCafe\_machicafe @machicafe\_machicafe

主催:まちカフェ!実行委員会  
共催:町田市役所市民協働推進課  
事務局:町田市民協働サポートオフィス  
TEL:042-741-1930(10:00-16:00)



家族連れの方にも多く参加いただいた



町田市内の団体が一堂に集う

# 7. 館ヶ丘団地「防災フェスティバル」

1 日程 2024年2月17日(土)

2 場所 館ヶ丘団地

### 3 概要

館ヶ丘団地の自治会と、ソーシャル・イノベーションセンター登録団体である「たまぼら」の「館ヶ丘プロジェクト」チームが共催する防災イベントに、学生ボランティアスタッフが参加しました。

当日は100名ほどが参加し、防災グッズの展示や非常食の試食、消火器訓練などを行いました。学生ボランティアスタッフは、防災カードゲーム「なまずの学校」の体験ブースを出展しました。また、団地の方々と防災に関するワークショップにも参加し、意見を交わしました。

4 学生参加者数 3名

### 5 参加者の感想

今回初めての館ヶ丘プロジェクトさんとの合同でイベントを行い、もともと本イベントが団地の方に向けて防災啓発を行うイベントであることは知っていましたが、その中に入って雰囲気や実態を感じることが出来ました。団地の方々は防災意識が高く、ブースの出展でもその後のワークショップでも鋭い意見があり、とても参考になりました。大学に近い場所でこういったイベントを行うことが大学生と地域の絆を深める良いイベントであると自分は感じました。



学生ボランティアスタッフのブース



団地の方々と防災ワークショップ

## 8. ～相原地区協議会大学連携事業～ 地域交流会「竹カフェ～ポッチャ大会～」

1 日程 2024年3月2日(土)

2 場所 法政大学 EGG DOME

### 3 概要

相原地区と法大生の交流イベント、通称「竹カフェ」の第2回を開催。

今回は、パラリンピックの公式種目で、年齢や性別、障がいの有無を問わず、交流を深めるのに最適なパラスポーツ「ポッチャ」の体験大会を実施しました。

学生ボランティアスタッフ4名と、地域の方々13名の計17名が参加し、全8チーム対抗でのリーグ戦を行いました。各対戦のスコアを記録し、得失点差によって全体の順位を決定。上位入賞者から、景品の法政グッズをゲットできる形式で、熱い試合が繰り広げられました。

試合が進むにつれ、参加者全員が打ち解け、和気あいあいとした雰囲気となり、地域の方と学生の交流を深める良い機会の場となりました。

4 学生参加者数 4名

### 5 参加者の感想

ポッチャは全ての人を楽しめるスポーツだと改めて実感しました。参加者の方々とは有意義な時間を共有できたと思います。竹カフェが地域交流の場になるよう今後も継続していきたいです。

ポッチャを通して地域の方々とは交流することができた。ポッチャをしていき多くの人が盛り上がってくれていたのがよかったのではないかなと思う。だが来てくださる人が直前まで中々集まらなかったのが今後の課題であると感じた。交流していく中で法政大学の駅伝の話であったり、地域の話というものが聞けたのでおおむね竹カフェの目指していたものが達成されていたのではないかなと思う。

開催が遅くなった経緯があり、今回も直前までなかなか人が集まり切らない状況がありましたが、13人もの地域の方々にお越しいただき、無事開催できたことですのでごくホッとしています。今回の竹カフェは開催時期や様々な制約など今までに経験していなかった難しさを感じました。しかしながら、実際にポッチャを楽しまれている学生や地域の方々を見て、本当に開催して良かったと思います。



竹カフェ  
ポッチャ大会

参加者募集！

日時：3月2日(土)  
13:00～15:30  
場所：法政大学多摩キャンパス  
エッグドーム5Fホール

法大生とパラスポーツ  
「ポッチャ」で  
交流しましょう！

詳細は裏面をご確認ください！



スタッフによるルール説明



地域交流の良い機会となった

## 9. つるかわ大交流会「ミライ大作戦」

1 日程 2024年3月9日(土)

2 場所 和光大学

### 3 概要

和光大学のフードバンクサークル「はらぺこあおむし」からお声がけいただき、学生主催の地域交流イベント「ミライ大作戦」に学生ボランティアスタッフが参加し、防災カードゲーム「なますの学校」の体験ブースを出展しました。

和光大学の学生団体だけでなく、さがまち学生ClubやNPO法人SoELaも参加し、鶴川地域の方々と食事やクイズゲームなどを通じて交流を行い、イベントは大いに盛り上がりました。

4 学生参加者数 2名

### 5 参加者の感想

和光大学のはらぺこさん達のイベントに参加させていただきました。来客者はそれほど来ませんでしたが、学生や地域の活気を感じさせるイベントだと感じました。又自分たちで企画していくうえで様々なアイデアやイベントを企画していることに感心しました。

今回が初となる試みのイベントだとお聞きしましたが、学生団体だけでなく、地域で活動する趣味やボランティアの団体など様々な方とつながることが出来、非常に有意義な時間であったと思います。主催を行っている和光大学のフードバンクサークル「はらぺこあおむし」の皆さんで作ったベーコン丼が美味しかったです。

つるかわ大交流会  
ミライ大作戦  
2024.3.9 土 10:00~17:00  
学生主催の地域を巻き込んだ一大イベント!  
食べて、話して、歩いて  
鶴川がもっと好きになる♪

参加団体(協賛)

さがまち学生Club 法政大学S I C NPO法人SoELa はらぺこあおむし

会場 和光大学 5棟2階, 6棟1階, 10棟1階, その他屋外  
主催 和光大学フードバンクサークル【はらぺこあおむし】  
お問い合わせ mirai.daisakusen@gmail.com またはSNS  
QRコード  
イベントSNS  
詳細はこちらから!

## 10. 学生活動報告会「ガクマチ EXPO」

1 日程 2024年3月20日(水・祝)

2 場所 町田市生涯学習センター

### 3 概要

町田や八王子、相模原などで活動する学生団体が自分たちの活動を地域にPRするイベント、学生活動報告会「ガクマチ EXPO」が開催され、ソーシャル・イノベーションセンターの学生ボランティアスタッフが参加しました。

今年のガクマチ EXPO は、来場者の積極的な参加を促し、自分たちの活動をよりよく周知するための試みとして、「生涯学習センター占拠」をテーマに、謎解きゲームのように、来場者が各ブースを巡り、そこで手に入れたキーワードを集めて回る形式で開催。

学生ボランティアスタッフは、昨年度から引き続き、年齢・性別・障がいの有無を問わず楽しんで交流を深められるパラスポーツ「ポッチャ」の体験会ブースを出展しました。気軽に参加していただけるよう、オリジナルルールを作るなどして工夫をこらし、当日はたくさんの方に参加していただいて交流を深めることができました。

また、他大学の学生団体の活動を知る良い機会にもなりました。

4 学生参加者数 3名

### 5 参加者の感想

今回が最後となる参加でしたが、たくさんの方に「ポッチャ面白い！」と言ってもらえたことがすごく嬉しく、参加をして本当に良かったと思いました。既に熱を持ったイベントではありますが、まだまだ集客できる可能性を持ったイベントであると個人的には考えているので、来年度の開催のときには後輩たちに是非期待したいと思います。

前日準備からイベント当日までさまざまな団体の方々との交流を深めることができました。ポッチャでは、実演を取り入れた分かりやすい説明を心掛けました。参加者の中にはポッチャを詳しく知らない方もいて、今回の活動がポッチャに興味を持つきっかけになれば嬉しいです。



会場設営



学生活動報告会  
ガクマチ EXPO  
知らぬもの、出るべからず  
生涯学習センター  
占拠  
学生とつながる！  
3月20日(水・祝)  
10:00~16:00  
会場・主催：町田市生涯学習センター  
お問合せ先：042-728-0071  
入場無料・予約不要